

# 外国語活動 学習指導案

学校名 北広島町立八重小学校

授業者 T1 パワーアップリーダー 三宅 知英子

T2 A L T Richard Santa Cruz

## こんな授業を提案します

○外国語活動の授業において、「書くこと」とはどのようなものか指導者がイメージをつかめるように、「話すこと（やり取り）」→「書くこと」を意識した授業の流れを設定しました。児童が英語での文章や単語を書くきまりやどのくらいの文章量をかかせるのかを見てください。

○「書くこと」が児童にとってできるだけ必然性のあるものになるように、課題に対して提示されたものの中から選択したり自分の思いを伝えたりできるワークシートを作成しました。

1 日時 平成30年11月7日（水）

2 学年 第6学年 24名

3 単元名 I want to go to Italy～ミニポスターで行きたい国を伝え合おう大作戦！！～

(Hi friends2 L5 Let's go to Italy, We can1 U6 I want to go to Italy)

## 4 単元について

○ 本単元は、新学習指導要領（平成29年度告示）解説外国語活動・外国語編の(5)「【書くこと】(5)イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元では、ALTや友達に自分の行きたい国ポスターを作って見合い、共有する活動をゴールに設定したものである。また、12月に本校に来られる台湾の高校生にも体育館に掲示して見て頂きコミュニケーションを図りたいと考えている。ALTや台湾の高校生にポスターを紹介し、友達と見せ合う活動を行うことにより、児童に「書くこと」に対して必然性を与えることができると考える。文章を書くことを通して、大文字や小文字の区別、慣れ親しんだ語句や文章の語順を意識しながら書き写す活動等を行うことにより英語の文章構成や配列の特徴を理解させることができる単元でもある。そして、自分の行きたい国を紹介する際に理由も交えてポスターで伝え合う活動を通して、世界にはたくさんの国があることやそれぞれの国の文化、日本との違いに気づき、世界の国々への興味関心を深めることのできる単元である。

○ 本学級の児童の多くは、外国語活動の授業に対して、まじめに落ち着いて学習することができる。9月に行ったアンケート調査では、「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちを伝えています。」の項目においては、肯定的評価が62.5%と低い。理由を尋ねると「恥ずかしいから。」「緊張をするから。」「自信がないから。」等ということだった。児童の実態に合わせ、失敗を恐れずにコミュニケーションを図ることができるような情意面に配慮した指導が必要だと考えられる。

「書くこと」に関しては、2学期より、「Hi, friends! Plus」等を活用して、大文字や小文字の向きや高さに気を付けて書く活動を行っている。また、9月には、「We can 2」Unit 6「My summer vacation」において、夏休みに行った場所、楽しんだこと、感想などについて例文を参考に、初めて英文を書き出し思い出アルバムを作成する学習をした。9月に行ったアンケート調査でも「英語の書き方の決まりを守って書いている。」の項目において肯定的評価が98%「単語を並べる順序を考えながら書いている。」の項目において肯定的評価が89%と高く、書き方のきまりを守り、気をつけながら書こうとしている。しかし、9月に実際に作成した思い出アルバムを正確に書くことができていた児童は、50%程度と低く、アルファベットの形の似ている文字を間違えて書いてしまう、語句に脱字があるなどまだまだ書くことに慣れていない実態がみられる。

○ 指導にあたっては、単元のスタートに、世界の国々のVTRを視聴した。そして、指導者が作成した自分の行きたい国ポスターを作って見せることにより、自分たちもALTや学級の友達と自分の行

きたい国ポスターを作って見せ合いたいという思いを高めさせる。さらに、台湾の高校生にポスターを紹介することをゴールとして設定し、ポスターを見てもらうためには、正しく正確に書かないと相手に伝わらないことを意識させる。

語句や国のことを調べるために英和辞典やインターネット等を使い、自分が本当に行きたい国、行きたい理由を英語で表現させることを通して、自分が話したり書いたりした英語が相手に伝わるという喜びを味わわせて学びに向かう意欲を育て、自信を持たせる取組を進めたい。

「書くこと」に関しては、まず、本単元で用いる語句や表現を繰り返し「聞く」「話す」活動を数多く設定し、それらを用いたコミュニケーションを行う活動を繰り返し設定し、音声面で十分に慣れ親しませる。十分な時間をとって慣れ親しむことで話すこと【やりとり】に自信を持たせるようにさせる。児童が言い間違えた際には、間違いを指摘するのではなく正しい表現で言い直しができるように情意面を配慮することで、臆することなくコミュニケーションをとろうとする態度を養いたい。

次に、単語や表現を4線上に表記したカードを提示することで、単語の形の正確な把握や語順への気づきを促す。その上で、表現を書き写したり、自分で選んだ語を用いて文を完成させたりすることで音声から文字へと慣れ親しみ理解を深めていく。毎時間、時間を設定し空欄に自分で選んだ単語を書き写して一つの文を完成させる活動を繰り返し、できた充実感を味わわせたい。最後に、作成したポスターを友達同士で確認させることで、見直しや間違いに気づかせコミュニケーションや児童の書くようになる気持ちを高めさせたい。

## 5 単元の目標

- 自分の思いが友達に伝わるように、おすすめの国について他者に配慮しながら伝えたり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- 行きたい国について尋ねたり、言ったりする表現に慣れ親しむ。
- 行きたい国について話したことを、例文を参考に書くことに慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

- 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。
- 英語の書き方の規則に気付く。

【言語や文化に関する気付き】

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・相手に伝わるよう工夫しながら、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。	・行きたい国について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 ・自分の行きたい国について話したことを、例文を参考に語句を置き換え書いている。	・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くことができる。 ・英語の書き方の規則に気付くことができる。

## 7 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	行きたい国ポスターを見合おう大作戦!!～自分の行きたい国についての熱い思いをALTや学級のみなどとポスターで見合い、いろいろな国のよさを味わい、台湾の高校生に紹介しよう。
目指す発話例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>Where do you want to go?</u></li> <li>・ <u>I want to go to (Italy).</u></li> <li>・ <u>I want to see (soccer games).</u> ・ <u>I want to eat (pizza).</u></li> </ul>

8 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>Where do you want to go?</u></li> <li>• <u>I want to go to (Italy).</u></li> <li>• <u>I want to [see/go to] soccer games.</u></li> <li>• <u>I want to eat pizza.</u></li> <li>• 反応の表現 (I see. Oh, really?など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>国 (America, India, France, China, Japan, Australia, Egypt, Brazil, Greece, Spain, Russia etc...)</u></li> <li>• <u>場所 (the Colosseum, the Pyramids, the statue of liberty, the Great wall (Banri-no-Chojo), Red Square (Aka-no-Hiroba) etc...)</u></li> <li>• 食べ物 (pizza, cheese, <u>escargots</u>, <u>gyoza</u>, hamburger, etc...)</li> <li>• 動物 (panda, koala, etc...)</li> </ul>

9 単元計画【全8時間 本時 4/8時間】

時	目標と主な活動	評価規準 評価方法	表現例
1	<p>◆単元終末の活動を知り，単元の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     行きたい国ポスターを伝え合おう大作戦!! の計画を立てよう。                 </div> <p>※この単元で取り組む課題を知り，単元の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分たちも行きたい国を決め，情報を集めておくことを伝える。(総合的な学習の時間)</li> <li>• 【Activity】 What country?クイズ</li> <li>• 【let' s play】 ① (HF2 P. 18)</li> <li>• 【let' s listen】 ① (HF2 P. 19)</li> <li>• 【let' s Watch and think】 ② (WC1 P. 42)</li> </ul>	【気】 行動観察・ 振り返り カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>Where do you want to go?</u></li> <li>• <u>I want to go to (Italy).</u></li> </ul>
2	<p>◆国名の表現に慣れ親しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     いろいろな国や観光名所を知ろう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 【Jingle 1】 Countries</li> <li>• 【let' s play】 ① (WC1 P. 43)</li> <li>• 【let' s Watch and think2】 (WC1 P. 44)</li> </ul> <p>○国名についての表現に慣れ親しむ。 ○国名を書き写す。</p>	【気】 行動観察・ワー クシート， 振り返り カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>国 (America, India, France, China, Korea, Australia, Egypt, Brazil, Greece, Spain, Russia etc...)</u></li> </ul>
3	<p>◆行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     行きたい国の伝え方について知ろう。(やり取り)                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 【Jingle】 ①Countries (WC1 P. 46)</li> <li>• 【Let' s Chants】 ①Countries (WC1 P. 44)</li> <li>• 【Activity】 ① (WC1 P. 44)</li> </ul>	【コ】 行動観察・ 振り返り カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>Where do you want to go?</u></li> <li>• <u>I want to go to (Egypt).</u></li> <li>• <u>国 (America, India, France, China, Korea, Australia, Egypt, Brazil, Greece, Spain, Russia etc...)</u></li> </ul>

<p>4 本時</p>	<p>◆行きたい国について伝えあったり、語順を意識して書き写したりする。</p> <p>行きたい国を書いて伝えるには？</p> <p>・【Activity】○行きたい国について尋ねたり、答えたりして伝え合う。 ・【Activity】○ワークシートに自分の行きたい国の伝え方“<u>I want to go to (Italy).</u>”を書く。</p>	<p>【気】 行動観察・ワークシート</p>	<p>・ <u>Where do you want to go?</u> ・ <u>I want to go to (Italy).</u> ・ <u>国 (America, India, France, China, Korea, Australia, Egypt, Brazil, Greece, Spain, Russia etc...)</u></p>
<p>5</p>	<p>◆行きたい国でできることの表現に慣れ親しむ。(観光名所編)</p> <p>行きたい国の観光名所を伝えるには？</p> <p>・【Activity】○行きたい国の観光名所について伝えたり、行きたい国について答えたりして伝え合う。 ・【Activity】○ワークシートに自分のおすすめの国の観光名所の紹介の仕方” <u>I want to (go to/ see)(soccer games).</u>”を書く。</p>	<p>【慣】 行動観察・ワークシート</p>	<p>・ <u>Where do you want to go?</u> ・ <u>I want to go to (Italy).</u> ・ <u>I want to see (soccer games).</u></p>
<p>6</p>	<p>◆行きたい国で食べたいもの(食べ物編)の表現に慣れ親しむ。</p> <p>行きたい国で食べたいものを伝えるには？</p> <p>・【Activity】○行きたい国で食べることができる物について伝えたり、行きたい国について答えたりして伝え合う。 ・【Activity】○ワークシートに自分のおすすめの国の食べ物の紹介の仕方” <u>I want to eat (pizza).</u>”を書く。</p>	<p>【慣】 行動観察・ワークシート</p>	<p>・ <u>Where do you want to go?</u> ・ <u>I want to go to (Italy).</u> ・ <u>I want to see (soccer games).</u> ・ <u>I want to eat (pizza).</u></p>
<p>7</p>	<p>◆前時までに書いた英文を参考に、ポスターを完成させることができる。</p> <p>行きたい国ポスターを作ろう。</p> <p>・【Activity】○行きたい国、観光名所、食べ物について伝えたり、行きたい国について答えたりして伝え合う。 ・【Activity】○前時までに書いたワークシートを参考に、ポスターを書く。</p>	<p>【コ】 行動観察・おすすめの国ポスター・振り返りカード</p>	<p>・ <u>Where do you want to go?</u> ・ <u>I want to go to (Italy).</u> ・ <u>I want to see (soccer games).</u> ・ <u>I want to eat (pizza).</u></p>
<p>8</p>	<p>◆ポスターを見合い、いろいろな国の良さを味わう。</p> <p>行きたい国ポスターを見合おう大作戦！！</p> <p>・【Activity】○行きたい国、観光名所、食べ物について伝えたり、行きたい国について答えたりして伝え合う。 ・【Activity】○書いたポスターを見合い、友達の熱い思いを感じたり、振り返りをしたりする。</p>	<p>【コ】 【気】 行動観察・振り返りカード</p>	<p>・ <u>Where do you want to go?</u> ・ <u>I want to go to (Italy).</u> ・ <u>I want to see (soccer games).</u> ・ <u>I want to eat (pizza).</u> ・ 反応の表現 (I see. Oh, really? など)</p>

## 10 本時の計画

### (1) 目標

- ・行きたい国について伝えあったり，書いたりすることができる。

### (2) 評価規準

- ・行きたい国を表す表現の話し方と文章の書き表し方を結びつけることができる。

【言語や文化に関する気付き】

### (3) 準備物

教室用PC，教師用絵カード，ワークシート，モニター

### (4) 学習の展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点等 ◆評価
	T 1	T 2 (A L T)	
1 挨拶をする。 ・学習リーダーが中心となってやりとりを進める。 ・曜日，日付，天気を言う。 L : Hello, everyone. How are you? How is the weather? What is the date today?			・Very good! I like your hello. Very nice! And I am happy now.など挨拶の良さを認める。
2 指導者のやり取りを聞いて，本時の表現を確認する。 【Model talk を聞く】(おすすめの国)	T1 : Where do you want to go ? T2 : I want to go to many countries. T1 : One country please. One country!! T1 : Well, I want to go to Egypt. T1 : Oh, really ? T2 : I like Egypt very much. T1 : That's great.		
3 児童同士のペアで練習をする。	S1 : Where do you want to go ? S2 : I want to go to (Spain). Where do you want to go ? S1 : I want to go to (France).		・ペアを交代し，何度も練習させる。 ・児童の言い間違いを指摘するのではなく，正しく言い直して聞かせることで気づかせる。気づかせたら再度言わせる。
4 単元の流れを振り返り，本時の活動の見通しを持つ。 行きたい国を書いて伝えるには？			・学習計画図をもとに，目的意識や相手意識を確認することで，活動の見通しを持たせる。

<p>5 やり取りした表現について例文を参考に書く。</p> <p>①語順をわざとばらばらにしておき、何度もALTが読むのを聞かせることで、語順のきまりに気づかせる。</p> <p>②単語のつづりを間違えた単語を掲示し、間違いに気づかせる。</p> <p>③例文の音声を繰り返し読んだ後、なぞり書きをする。自分の行きたい国を書く。</p> <p>㊦ 書かれている文字をなぞる。</p> <p>① 自分の希望する単語を使いながら文を完成させる。</p> <p>④自分が書いた英文を読む。</p> <p>6 ミニポスターに、今日学習した文章を書く。</p>	<p>I want to go to (Spain). (Word list)</p> <p>1 America    2 India 3 France    4 China 5 Australia   6 Korea 7 Egypt      8 Brazil 9 Greece     10 Spain 11 Russia etc... 児童の行きたい国をリストに入れておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 意図的に間違った語句を提示し、T2のALTに困ったように発音してもらう。アルファベットを間違えると伝わらないことに気づかせる。</li> <li>• Where do you want to go? I want to go to のあえて同じ表現の部分の縦列をそろえて貼ることで、同じ語順が使われていることに気づかせる。</li> <li>• 単語をまとまりで認識し、音と文字をつなげながら読めるよう、ゆっくり単語を押さえながら全体で確認する。</li> <li>• 文を書く際のきまり（単語と単語の間はスペースをあける、文末はピリオドをつける）等掲示しておく。</li> <li>• 文字と音を一致させているか確認することができるように、できた英文を声に出して読ませる。</li> </ul> <p>◆行きたい国を表す表現の話し方と文章の書き表し方を結びつけることができる。</p> <p>【言語や文化に関する気付き】</p>
<p>7 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 振り返りカードに会話の楽しさや新しい気付き、友達の良いところ等書き、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 振り返りをすることを伝える。</li> <li>◇会話の楽しさや新しい気付き等を発表させ、賞賛し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行きたい国の表現の仕方について読み方や書き方について振り返る視点を持たせる。</li> <li>◇児童が正しく書き写すことができていたことを評価する。</li> </ul>
<p>【めざす子供の姿】 I want to go to～の表現を使って、自分の行きたい国を伝えられた。英語の文の時は、I から始まって国の名前を最後に書くことが分かった。前より英語の書き方の決まりに気をつけて書くことができるようになった。</p>		
<p>8 終わりの挨拶をする。</p>	<p>T1: Good-bye. See you! T2: Good-bye. See you next time!</p>	

# 行きたい国ポスターを見せ合おう大作戦 ~I want to go to Italy~(全8時間)

## 課題発見

6年総合の取組「人とのふれあいを通して自分の生き方をみつめよう」

・身近な人・地域の肩とのふれあいを深めよう！

6年の児童の外国語活動について

・英語における一人一人の表現力に差がある。

英語

世界にはどんな国があるのかな。

いろいろな国を調べてみたい。

自分の行きたい国をみんなに伝えたい。

友達が行きたい国を知りたい。

いろいろな世界の人と英語でつながりたい。



## 課題の設定

自分の行きたい国についての熱い思いをALTや学級のみんと英語でポスターにして、いろいろな国のよさ味わおう。

## 情報の収集

総合

様々な情報を集め、自分の行きたい国(調べたい国)を決定する。

行きたい国を紹介するために必要な情報を選択する。

英語

行きたいの国についての情報を、英語で紹介できるように表現の仕方を習得する。【本時】

## 整理・分析

総合

表現に合わせポスターの写真等を作成する。

英語

## 実行

「行きたい国ポスターを見せ合おう」大作戦



## 振り返り

自分の行きたい国が見つかった。友達がおすすめする国がよく分かった。

## まとめ・創造・表現

台湾の高校生にもポスターを見てもらおう